



来週の投資戦略 (8/10-13)

SBG とメルカリに注目

2021年8月8日

小松 徹

注目事項 — 見所

企業決算 — 業績数値も大切だが、経営方針はもっと大切

株式市場見通し

先週も米国株式市場が強かった。主要株価3指数が木曜日か金曜日に史上最高値を更新した。わが国も先週は主要株価指数が1~2%上昇した。年初来では日経225の1.4%高の低さが際立つが、TOPIXでは6.9%高になっている。この差はファーストリテイリング(9983)とソフトバンクグループ(9984、以下SBG)の低迷—それぞれ21%安、16%安—の影響が大きい。

来週火曜日にはSBGが注目の決算を発表する。さらに重要なのは、孫会長の投資方針だ。中国の市場環境をどのように見ているか、ポートフォリオの入れ替えをしているか。最近米国の新規公開市場(IPO)に登場した銘柄も株価が低迷しているものもあり、これまでのように金の卵から順調に産まれるようには思えない。このような環境にあってもアナリストのSBGへの評価は変わらず非常に高い。単純な投資先との時価総額対比でSBGが割安と評価しても、投資先の業績が不振であり続けるならば、必ずしもそうとは言えない。もうひとつの注目点は、再度大規模な自社株買いを発表するかだろう。

日経225とは関係ないが、もう一銘柄注目を上げれば、マザーズ指数で最大の時価総額を誇るメルカリ(4385)になる。前期の黒字転換から、今期業績予想がどれだけ大幅黒字になるか。会社四季報は5億円の黒字しか見えていないが、アナリストは137億円の営業利益、66億円の当期純利益を予想している。この場合でも、株価収益率(PE)は142倍とかなり高い。さて、先々週業績予想を上方修正したにも係わらず、株価を下げた銘柄の多くがその後戻っている。例えば、ファナック(6954)、パナソニック(6752)など。すなわち、4-6月期決算が発表されると事前のアナリスト予想と比較して売買されるが、その後すぐに買い戻されることが分かっている。先週業績を上方修正したにも係わらず、株価が下がっていれば、この法則を思い出そう。

最後に、わが国のワクチン接種完了率が本日付で32.86%と1週間前よりも5.0ポイントも上がった。政府は早く手を上げた自治体にはアストラゼネカ社のワクチンをすぐに供給すると決めた。英国で再び感染者数が増えていることから、デルタ株に対してどの程度有効なのか、やや気になる。オリンピックは日本人が得意な種目が多く採用されたこともあり、記録的なメダル奪取となった。そのせいもあり、人出が多くなり、感染者数も全国で急増している。重篤者も増えてきたので注意しなければならないが、死者が急増しなければ、投資家心理が大きく冷え込むことはなかろう。

KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期大幅増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。